

新しい司法書士像を求めて

ザ・フォーラム

《季刊》2000.10 No.44

発行

司法書士・行政書士
丹羽正夫事務所

〒461-0017
名古屋市東区東外堀町32
番地 鈴木ビル4F
TEL 052-962-9693
FAX 052-962-9633

登記・法律問題など、
お困りのことがございましたら、お気軽にご
相談ください。



感動のスズメ

司法書士 丹羽正夫



一 はじめに
冴えない世相状況
は別として、最近、
感動的な出来事に、
よく出会えますか。
シドニーオリンピック

クでは、そのような場面があったと思います。
肝心な日常生活では、どうでしょうか。

二 感動の効用

感動に遭遇すると、脳が活性化し、心が健
康となると共に、体の健康にもつながるよう
です。毎日一〇回以上の感動に出会えるとな
およいといえます。

しかし、どうしたら毎日多くの感動に出会
えるのでしょうか。そこで、異論があるかも
しれませんが、感動に出会う方法について考
えてみたいと思います。

三 感動のしくみ

感動とは、「すっかり感動して、心が強く
動かされること」(日本語大事典)といわれ
ても、感動のしくみはよくわかりません。
では、人は、どのようなときに感動するの
でしょうか。

日常生活では、次のような場面です。
・努力して、何かを達成したとき

・魂の触れ合いを感じたとき
・運よく熱望する何かを得たとき
・思い掛かず、親切な行為を受けたとき
・卓越した能力者・魅力的な人との出会い
・大変感謝されその気持が伝わったとき
・感動的な人の話、行為を見聞きしたとき
日常生活そのもの以外では、次のような場
面が想定されます。

・素晴らしい自然との遭遇
・動植物の生きざまに心を動かされる
・スポーツ、芝居、音楽、美術、本など

以上のことから、「感動のしくみ」は、努
力して熱望する何かを達成したときとか、思
い掛かず、想定外の出来事・事象との出会い
による、心のときめきといえるのではないで
しょうか。したがって、いろいろな事象との
出会いの機会を多く持つるようにすると共に、
素直さと感謝の気持を忘れないなどの生活態
度が、感動の源泉であると思います。

四 感動のスズメ

毎日数多くの感動に出会える生活をした
いものです。そして、感動とときめきに溢れた
彩りのある人生を送り、臨終のとき「いい人
生だったな」と心から言えれば、幸せである
と思います。